

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 株式会社CARTA HOLDINGS 上場取引所 東  
 コード番号 3688 URL https://cartaholdings.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宇佐美 進典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永岡 英則 TEL 03-4577-1453  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	16,321	—	2,578	—	2,435	—	1,372	—
2019年12月期第3四半期	14,280	—	2,408	—	2,447	—	1,329	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,216百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 1,280百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2020年12月期第3四半期	54.34	54.07	3,276	—
2019年12月期第3四半期	63.75	63.12	2,850	—

(注) 2019年12月期は、決算期変更の経過期間となり15ヶ月間（2018年10月1日～2019年12月31日）を対象とした変則決算となりますので、2019年12月期第3四半期は、2018年10月1日～2019年6月30日の連結経営成績を対象としております。このため、比較対象となる期間が異なることから、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）は、税金等調整前四半期純利益に支払利息、減価償却費、償却費及びのれん償却費を加えた金額です。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	43,711	24,126	54.9	952.87
2019年12月期	50,621	23,720	46.3	921.43

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 23,981百万円 2019年12月期 23,444百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	8.00	—	8.00	16.00
2020年12月期	—	8.00	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	百万円	%
通期	22,000	—	3,250	—	3,000	—	1,650	—	65.31	4,000	—

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年11月10日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。2019年12月期は決算期変更により15ヶ月間の変則決算となっておりますので、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	25,468,652株	2019年12月期	25,444,052株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	301,018株	2019年12月期	584株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	25,262,766株	2019年12月期3Q	20,851,409株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年11月10日（火）に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。その説明会の動画については、当日使用する四半期決算捕捉説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2019年12月期より決算日を9月30日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日）と、比較対象となる前第3四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年6月30日）の期間が異なるため、対前年同四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場について、㈱電通の調べによれば、2019年のインターネット広告費は、運用型広告費の伸長や物販系ECプラットフォーム広告費の市場拡大により2兆1,048億円となりました。

運用型広告費は、1兆3,267億円（前年比115.2%）となり、大規模プラットフォームを中心に高成長となりました。また、マスコミ四媒体由来のデジタル広告費は、715億円（同122.9%）となり、マスコミ媒体社のデジタルトランスフォーメーションがさらに進んでおります。

こうした環境のもと当社グループでは、①メディアレップを中心に広告の販売及びソリューションを提供する「パートナーセールス事業」、②広告配信プラットフォームを運営する「アドプラットフォーム事業」、③自社メディアの企画/運営、EC関連サービスの企画/運営、HR関連サービスの企画/運営等を展開する「コンシューマー事業」の3セグメントにおいて事業を展開してまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大により在宅勤務体制への移行や広告需要の減退等の影響を受けたものの、アドプラットフォーム事業が堅調に推移し、またコスト管理も徹底いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16,321百万円、営業利益2,578百万円、経常利益2,435百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,372百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含む数値を記載しております。

#### ①パートナーセールス事業

パートナーセールス事業では、メディアレップを中心に広告枠の販売及びソリューションの提供を行っております。予約型広告においては、メディアによる運用型広告へのシフトが加速するなか、既存メディアとの取り組みに加え、若年層メディアをはじめとした新興メディアの積極的な販売施策等を行いました。また、運用型広告においては、ターゲットに合わせた豊富なオーディエンスデータ活用や複数のDSP、アドエクスチェンジを活用した最適なトレーディングデスク体制の構築等、多角化する広告主ニーズへの対応の積極化ならびに「ブランドセーフティ（広告掲載先の品質確保による広告主ブランドの安全性）」の担保を目的としたソリューションベンダーとの連携を強化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるパートナーセールス事業の売上高は6,161百万円、セグメント利益は943百万円となりました。

#### ②アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業では、SSP「fluct」や広告主向けサービス「Zucks」、「BEYOND X」、ブランド広告向けアドプラットフォーム「PORTO」等の運営を行っております。「Zucks」においては、サービスや機能の拡充を進めるとともに顧客企業の需要を取り込み、堅調に推移いたしました。また、2020年5月にはTVCMを簡単にネットで発注・制作・効果検証できる次世代型TVマーケティングプラットフォーム「PORTO tv」の提供を開始し、2020年6月にはSNS・インフルエンサーマーケティング事業を展開する㈱KAIKETSUを連結子会社化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるアドプラットフォーム事業の売上高は5,355百万円、セグメント利益は1,323百万円となりました。

#### ③コンシューマー事業

コンシューマー事業では、「ECナビ」や「PeX」を中心としたポイントを活用した自社メディアの運営に加え、EC領域、HR領域を強化領域として、中長期的に次の柱となる事業を生み出すべく積極的な投資を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンシューマー事業の売上高は4,811百万円、セグメント利益は311百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末より6,909百万円減少し、43,711百万円となりました。これは、主に売掛金及びのれんの減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末より7,315百万円減少し、19,585百万円となりました。これは、主に買掛金及び賞与引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末より405百万円増加し、24,126百万円となりました。これは、主に自己株式の取得により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高は、アドプラットフォーム事業において海外の広告主からの出稿需要を取り込むなど好調に推移したものの、パートナーセールス事業において新型コロナウイルス感染拡大の影響による広告キャンペーンの中止・縮小が生じたことや、コンシューマー事業において一部の新規事業が計画していたほどには立ち上がらなかったことにより、前回発表予想を下回る見込みとなっております。

一方で、人材採用やプロモーション活動に関する費用が当初計画していたほどには発生しなかったことに加え、上記の新型コロナウイルス感染拡大の影響が中長期的に継続することを見据えた積極的なコストコントロールの実施により、販売管理費は前回発表予想における想定を下回る見込みとなっております。

その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及びEBITDAは前回発表予想を上回る見込みとなっております。

詳細については、本日(2020年11月10日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,546	15,098
売掛金	18,477	12,834
有価証券	—	65
商品	17	36
貯蔵品	419	409
その他	2,908	2,532
貸倒引当金	△86	△51
流動資産合計	36,283	30,924
固定資産		
有形固定資産	1,691	1,621
無形固定資産		
のれん	3,021	2,399
その他	3,725	3,264
無形固定資産合計	6,747	5,663
投資その他の資産		
投資有価証券	4,246	3,918
繰延税金資産	176	155
その他	1,477	1,428
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,899	5,502
固定資産合計	14,338	12,787
資産合計	50,621	43,711
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,110	12,415
賞与引当金	1,380	420
役員賞与引当金	27	5
ポイント引当金	505	562
預り金	2,742	3,097
短期借入金	19	19
1年内返済予定の長期借入金	195	118
その他	2,037	1,239
流動負債合計	25,019	17,879
固定負債		
長期借入金	208	209
資産除去債務	536	536
繰延税金負債	874	725
その他	262	236
固定負債合計	1,881	1,706
負債合計	26,900	19,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,096	1,105
資本剰余金	12,016	12,025
利益剰余金	9,642	10,637
自己株式	△0	△264
株主資本合計	22,754	23,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	493
為替換算調整勘定	△15	△15
その他の包括利益累計額合計	689	477
新株予約権	7	7
非支配株主持分	268	137
純資産合計	23,720	24,126
負債純資産合計	50,621	43,711

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	14,280	16,321
売上原価	1,567	2,185
売上総利益	12,712	14,136
販売費及び一般管理費	10,304	11,558
営業利益	2,408	2,578
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	30
投資事業組合運用益	11	4
業務受託料	21	13
固定資産賃貸料	15	14
保険配当金	21	17
その他	4	14
営業外収益合計	92	94
営業外費用		
持分法による投資損失	24	114
投資事業組合運用損	13	73
為替差損	11	46
その他	4	2
営業外費用合計	53	237
経常利益	2,447	2,435
特別利益		
投資有価証券売却益	—	166
関係会社株式売却益	—	46
その他	0	14
特別利益合計	0	227
特別損失		
固定資産除却損	34	72
投資有価証券売却損	163	77
投資有価証券評価損	—	31
本社移転費用	109	—
その他	1	10
特別損失合計	308	192
税金等調整前四半期純利益	2,139	2,471
法人税等	805	1,042
四半期純利益	1,333	1,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,329	1,372



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,333	1,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△211
為替換算調整勘定	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△0
その他の包括利益合計	△52	△212
四半期包括利益	1,280	1,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,277	1,160
非支配株主に係る四半期包括利益	3	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月12日開催の取締役会に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が264百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が264百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,365	2,946	2,968	14,280	—	14,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5	—	5	△5	—
計	8,365	2,951	2,968	14,285	△5	14,280
セグメント利益	2,215	146	47	2,408	—	2,408

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2019年1月1日付で実施した経営統合に伴い、アドプラットフォーム事業におけるのれん2,416百万円、  
コンシューマー事業におけるのれん761百万円を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,161	5,349	4,811	16,321	—	16,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	5	—	6	△6	—
計	6,161	5,355	4,811	16,328	△6	16,321
セグメント利益	943	1,323	311	2,578	—	2,578

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。